

学認LMSによる研究データ管理に関する オンライン講座の試験運用

(受講状況と受講後アンケート結果)

2020年2月19日 (水)

JPCOAR運営委員会 研究データ作業部会
国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター

受講者数

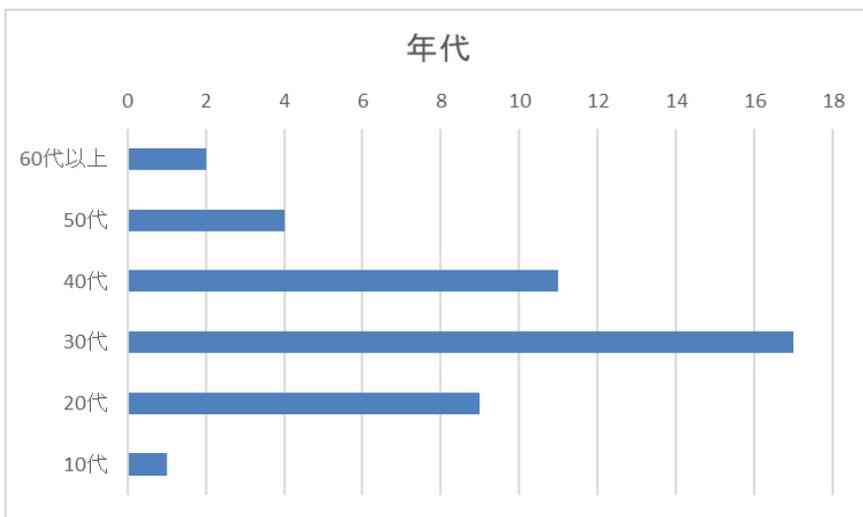
コース名	コース登録者数	テスト回答者数
オープンサイエンス時代の研究データ管理（2019試験運用）	146	44
研究データ管理サービスの設計と実践（2019試験運用）	90	31
オープンサイエンス時代の研究データ管理（e-book）	96	19
研究データ管理サービスの設計と実践（e-book）	62	20

コース名	コース登録者数	テスト回答者数
[学認LMS2019試験運用期間] 学認LMSに関するご意見箱	53	25

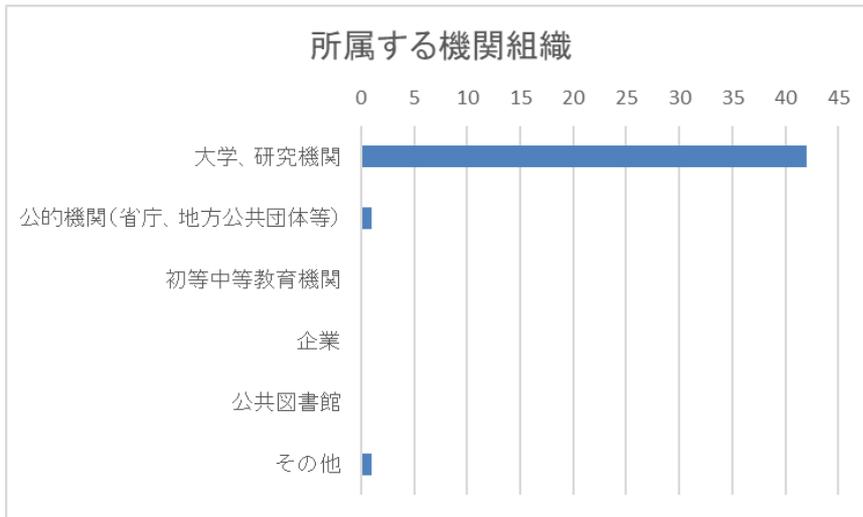
アンケート結果

回答者数：44

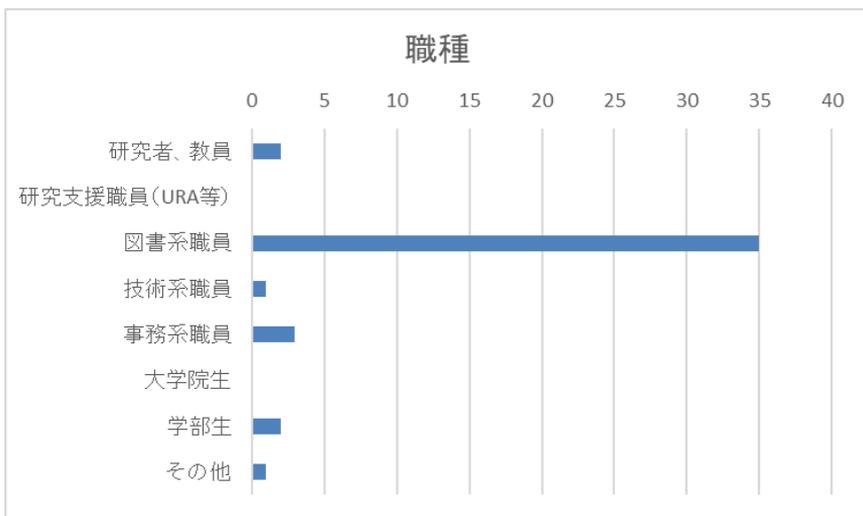
年代



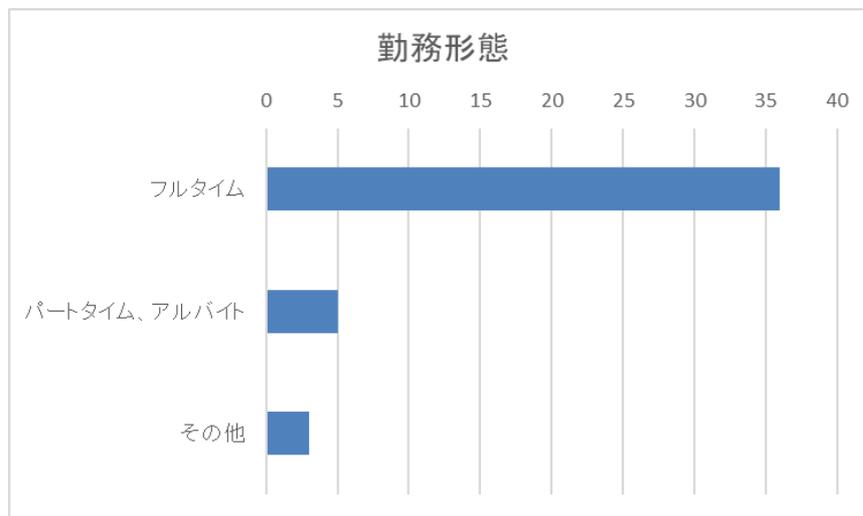
所属する機関組織

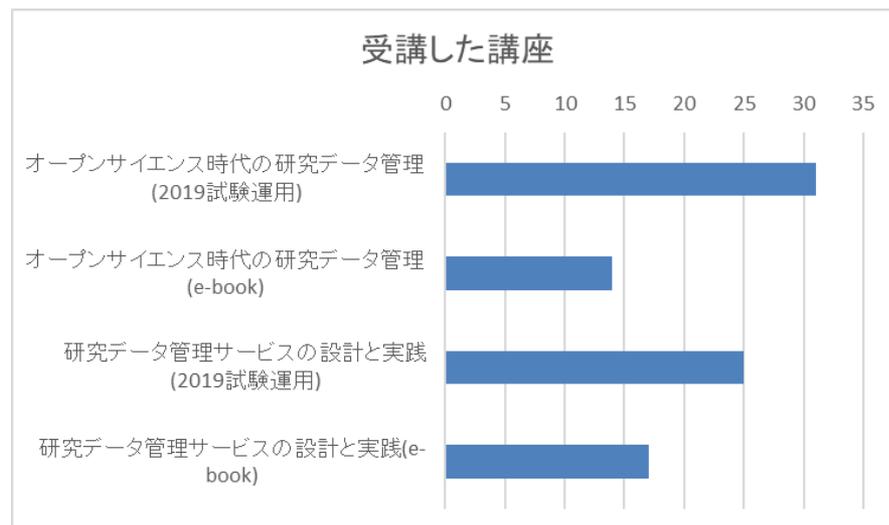
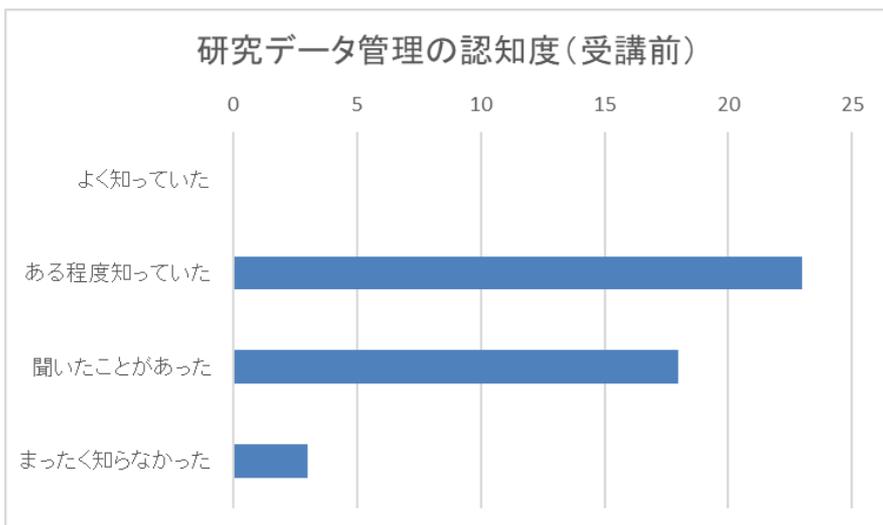
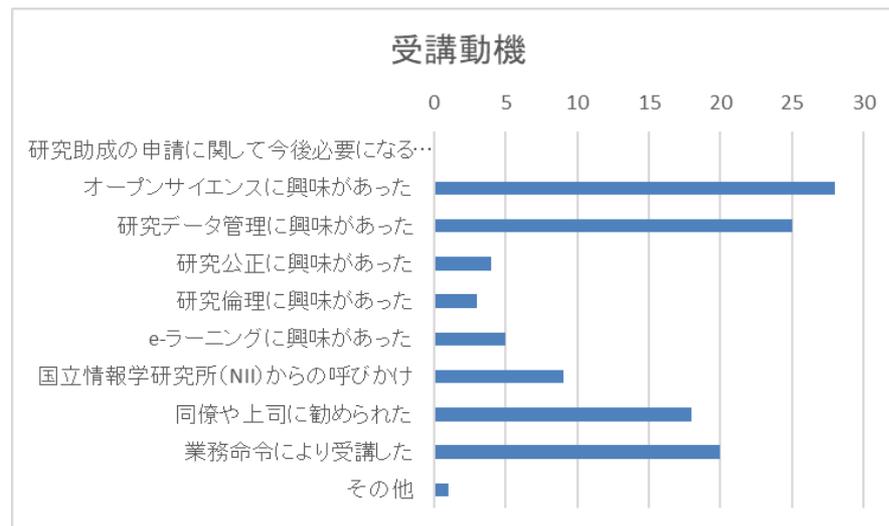
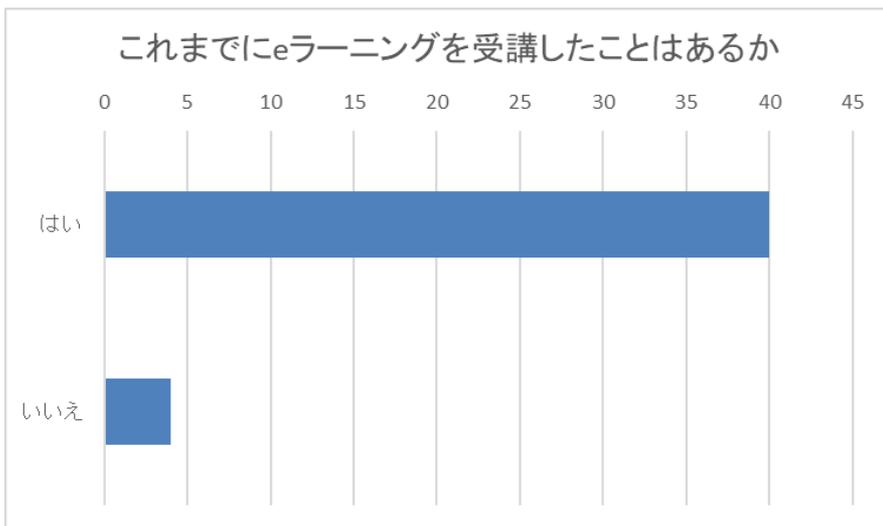


職種

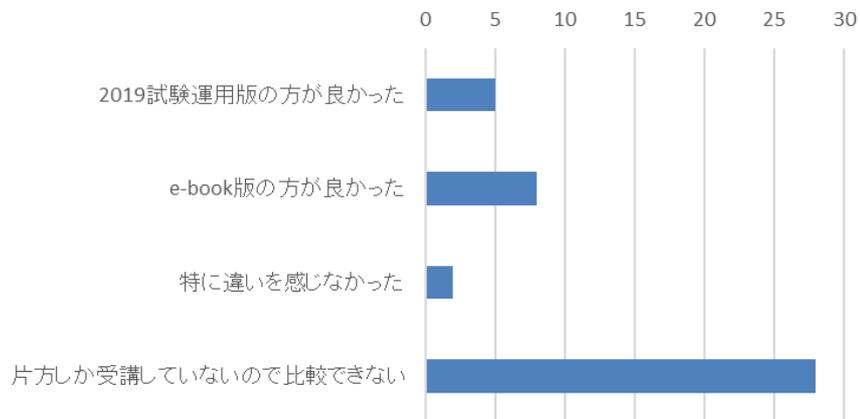


勤務形態

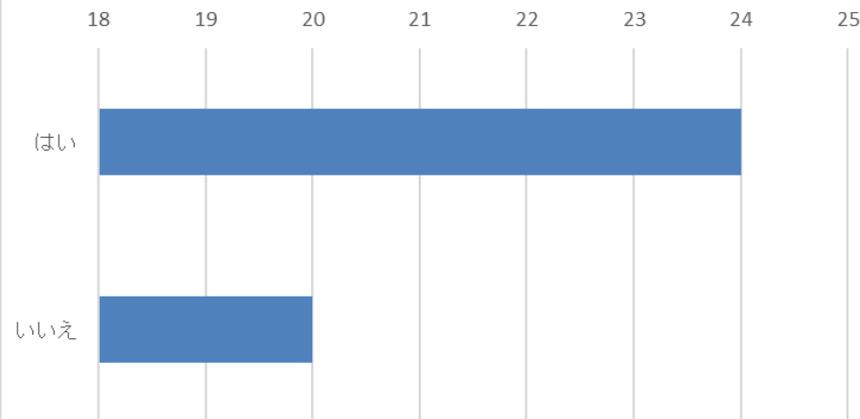




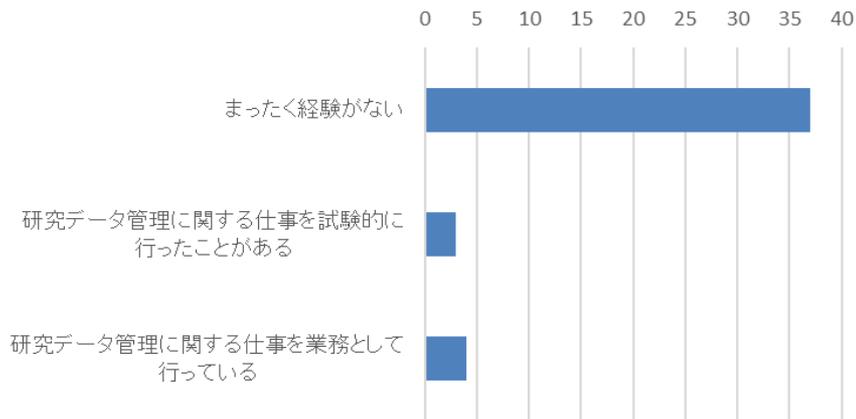
受講講座の比較評価



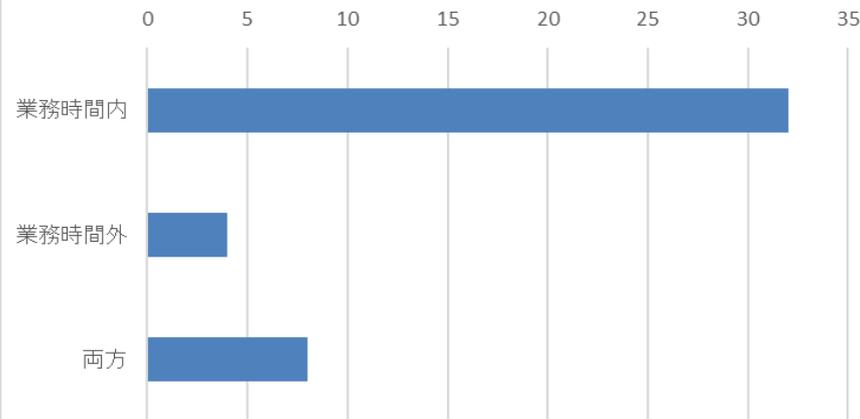
RDMに関する講習会やセミナーの受講経験



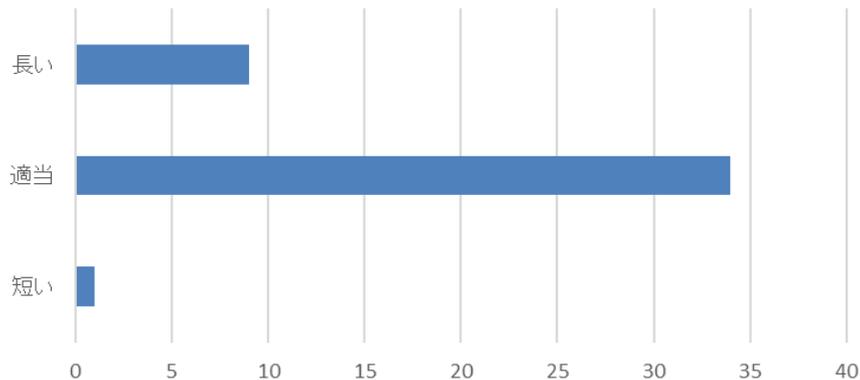
RDMに関する業務経験



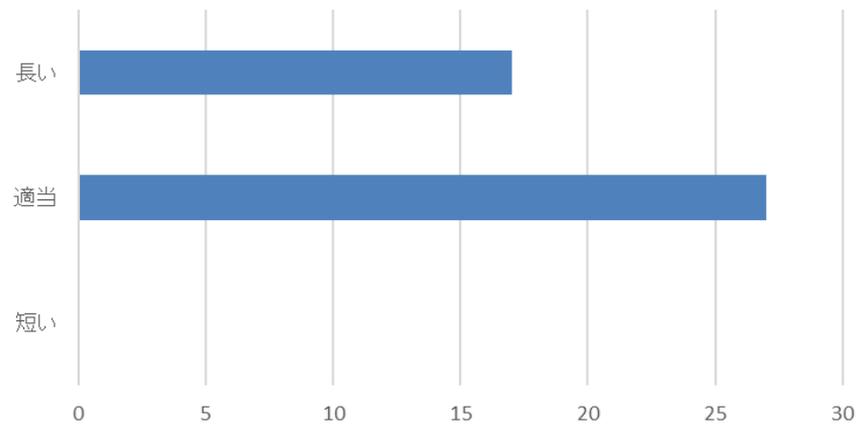
受講時間帯



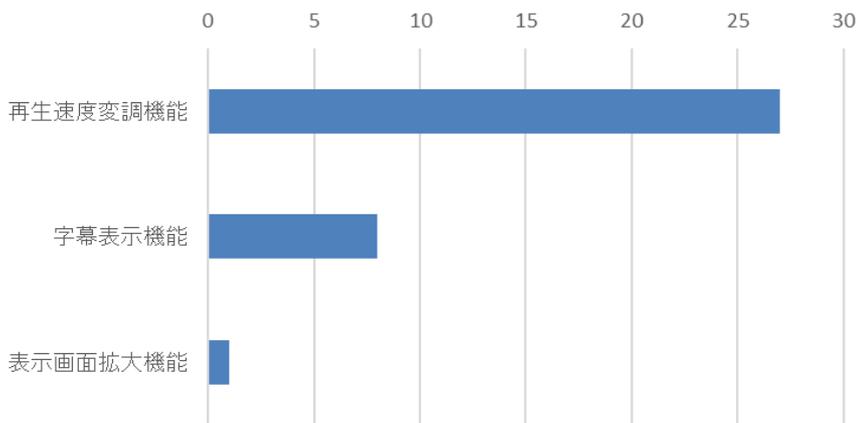
「オープンサイエンス時代の研究データ管理」の長さ



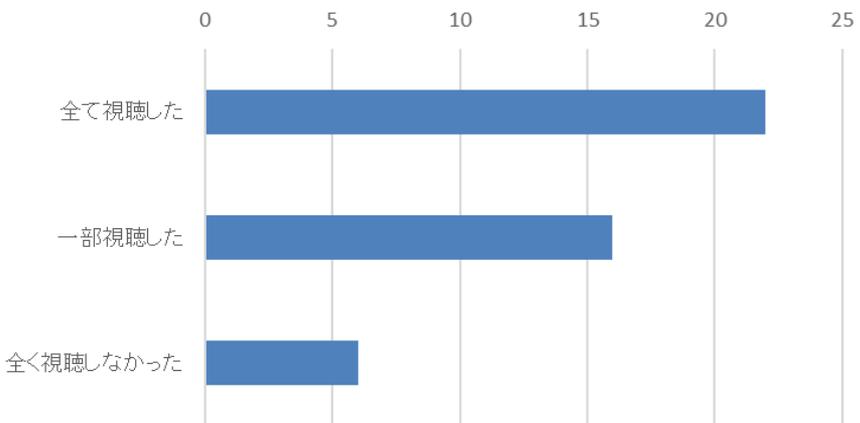
「研究データ管理サービスの設計と実践」の長さ

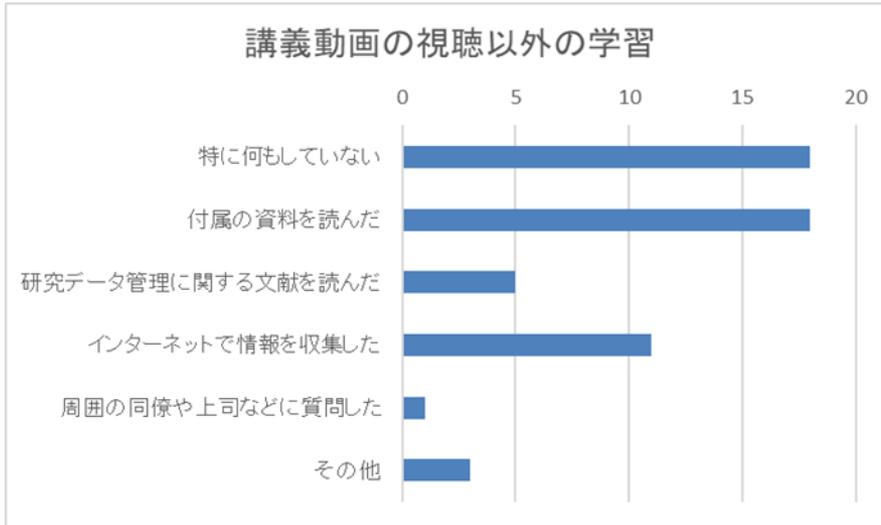


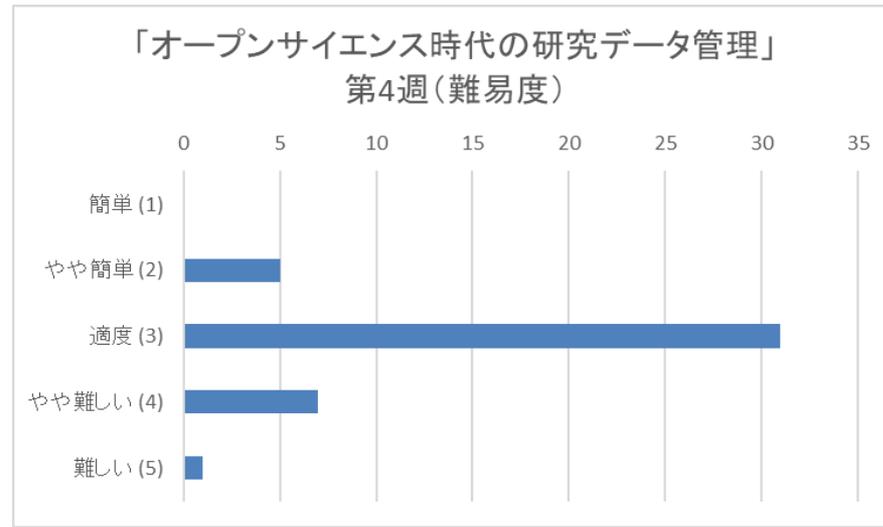
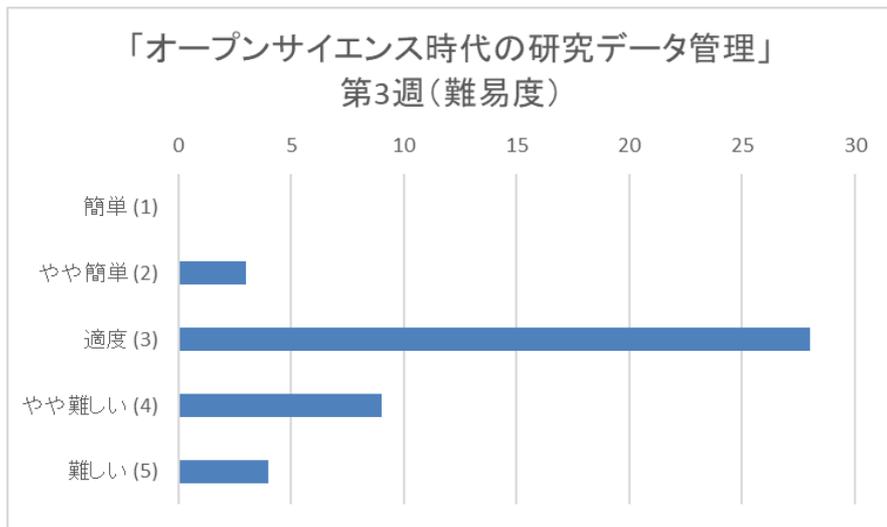
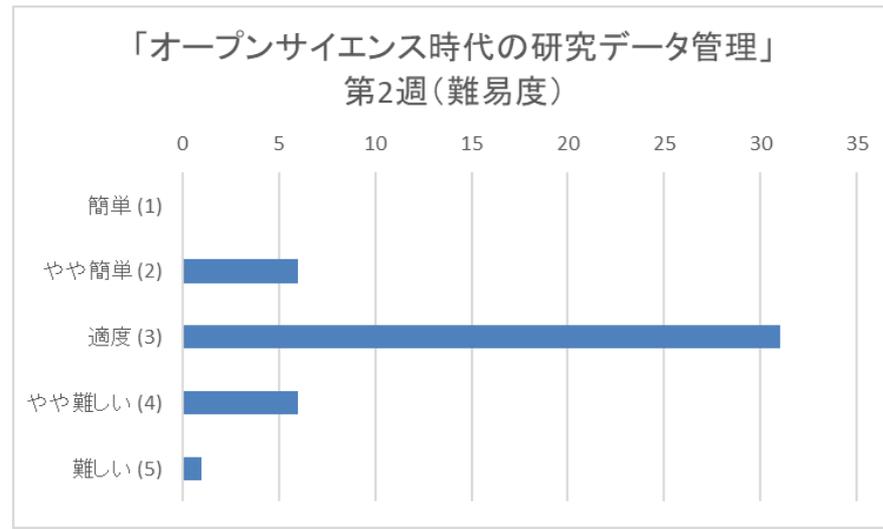
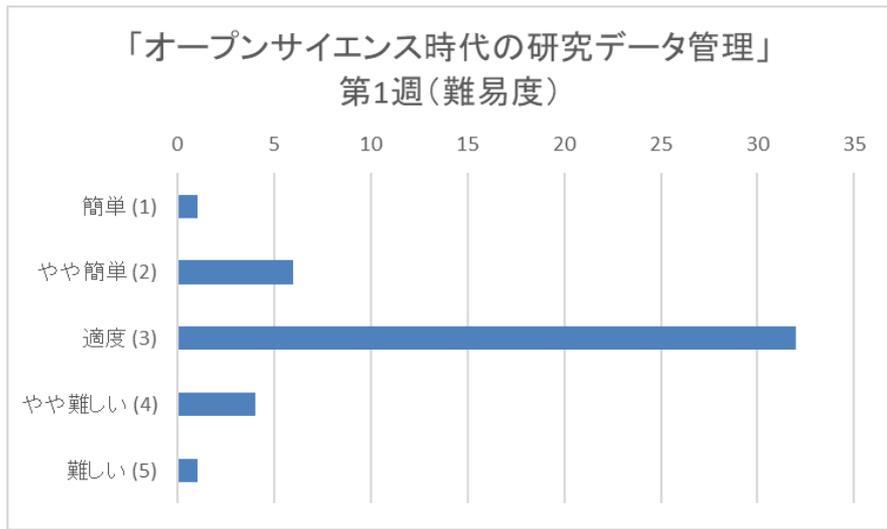
映像視聴で利用した機能



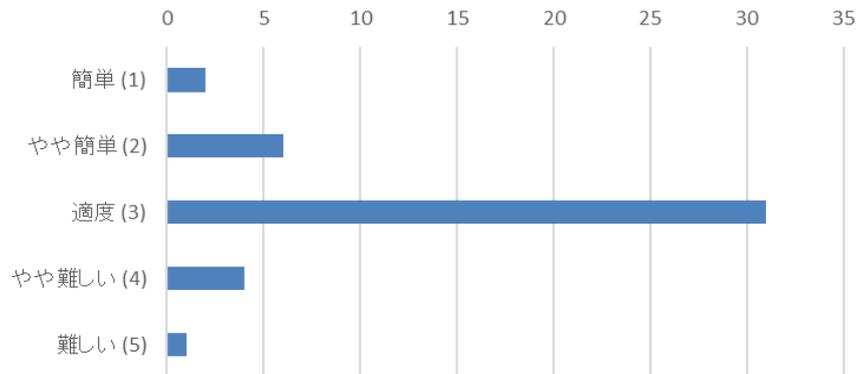
映像視聴の状況



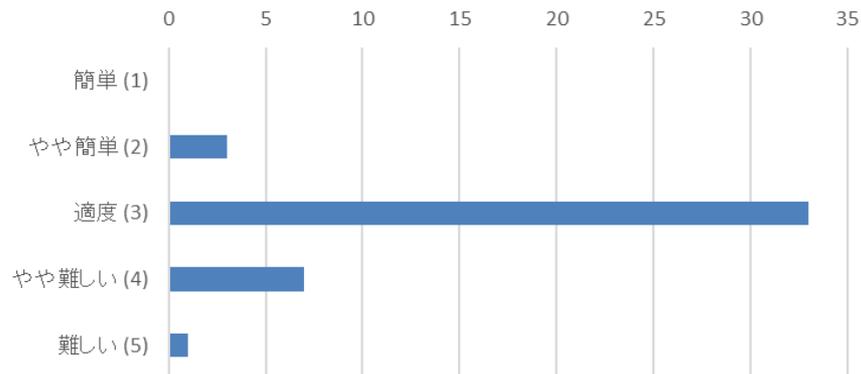




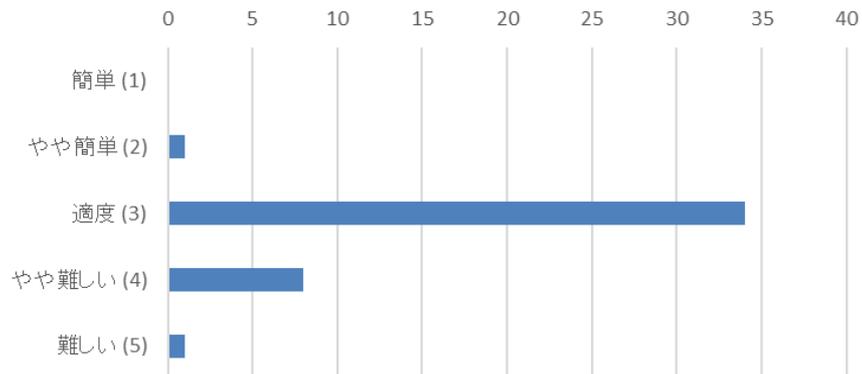
「研究データ管理サービスの設計と実践」
第1章(難易度)



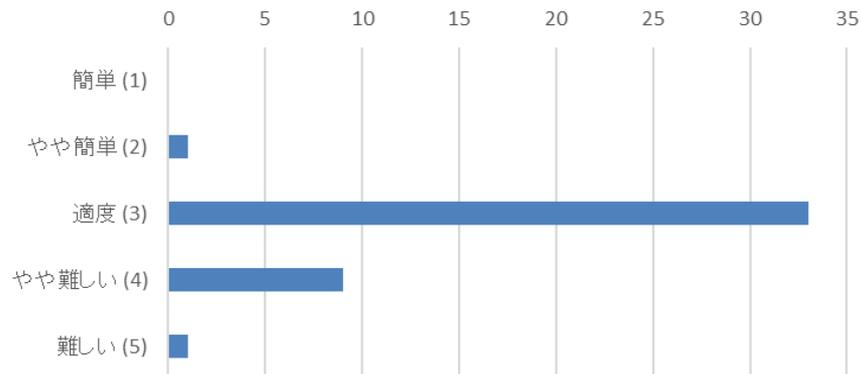
「研究データ管理サービスの設計と実践」
第2章(難易度)



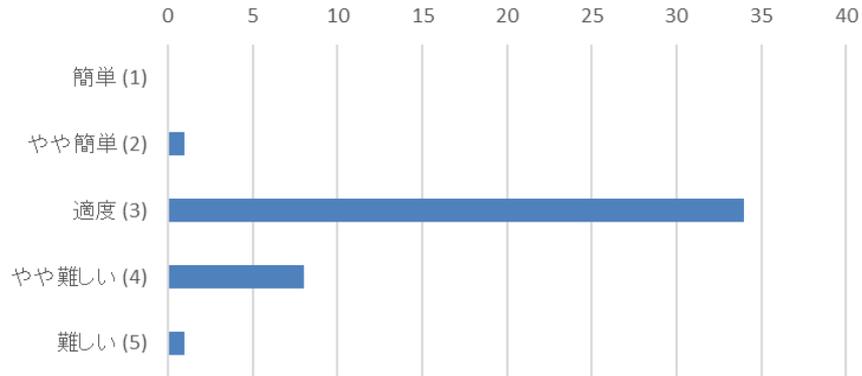
「研究データ管理サービスの設計と実践」
第3章(難易度)



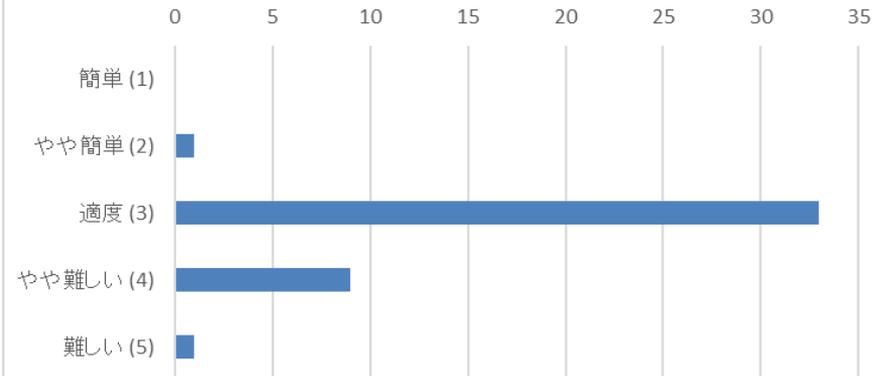
「研究データ管理サービスの設計と実践」
第4章(難易度)



「研究データ管理サービスの設計と実践」
第5章(難易度)



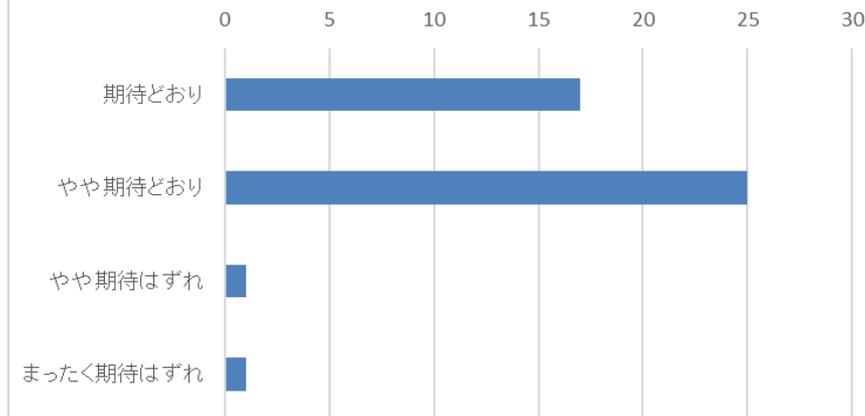
「研究データ管理サービスの設計と実践」
第6章(難易度)



本講座に対する期待

- 研究データ管理サービスの設計・構想にあたり必要な知識や情報源を把握すること。
- 大学で研究データ管理支援サービスを開始するにあたっての具体的な手順や、前例などの情報が得られることを期待していた。
- 研究データ管理に関する基本的な知識（用語、先進的な取り組みをしている組織等）を得ること。
- 「オープンサイエンス時代の研究データ管理」は過去にMOOCで受講経験があるので、そことの違いが知りたかった。
- 「オープンサイエンス時代の研究データ管理」は以前に受講していたので、さらにそれを深めた知識を取得するため。
- 研究データ管理についての知識と他大学や日本での動向やルールなどを知りたかった。自身が所属する大学で推進していく上で参考となる例を習得できればと期待していました。

内容の評価



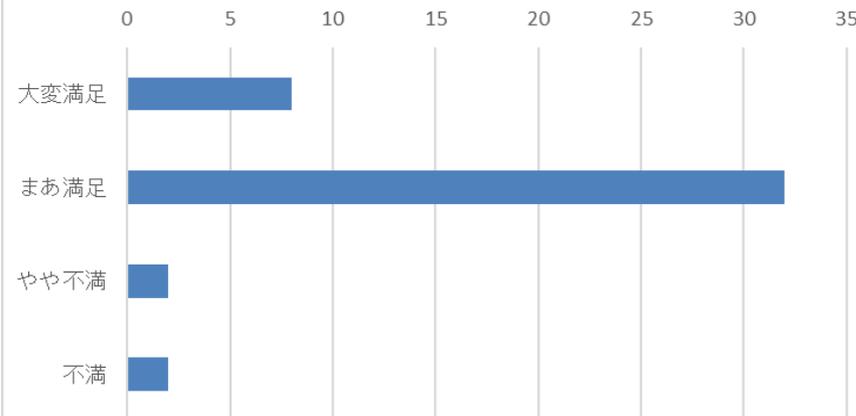
【期待どおり】

- 研究データの実践的な取り組みについて学ぶことができた。
- 各章のトピックが実用的なトピックに絞られている的確だ。

【期待はずれの理由】

- 業務としてデータ管理に携わっている人からすれば既知の内容が多い反面、初学者にとっては理解が難しい内容が多く、こういった層を対象にした教材なのかわからない。
- 動画である必要性をあまり感じられなかった。

満足度

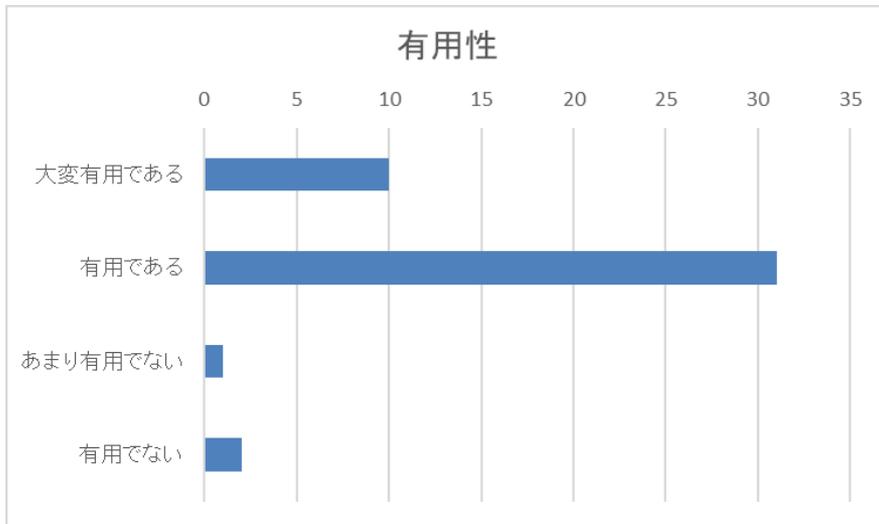


【満足】

- 基礎知識を確認できたほか、他大学の先行事例や参考リンク集など、今後実際に自分の機関でRDMサービスを設計する際に参考にできそうな情報を得ることができた。
- 研究データ管理について初めて学べた。
- 重要なポイント大変分かりやすくまとまっていた。
- 研究データ管理を総合的に学ぶことができたし、「オープンサイエンス時代の研究データ管理」については2度目の受講となるが、1回目より理解が深まったことを実感できました。

【不満】

- 2つの教材は、切り口が異なるものの内容的にはほとんど重複する部分が多かったため、どちらかを受講すれば事足りる。
- 映像教材である意味が薄い。



【有用】

- 関係者間で基礎知識を共有する上で、このようにまとまった教材が提供されているのは非常にありがたい。
- このような教材はまだ日本にはない。
- 説明もわかりやすいし、参考情報も豊富に掲載しているので、この講座以外なしでは研究データ管理を始めるのは難しい。
- 基礎知識を得るには有効だと思います。

【有用でない】

- 学習に手間取る。
- 講座の内容が紙芝居のようで、薄い。

本講座ならびに研究データ管理について (自由記述から抜粋)

- 動画を見るページにも進捗確認のチェックボックスがあるとよい。動画を再生した際に自動でチェックがつくとなおよい。
- テストはもう少し難しくてもよい。また、問題に改善の余地があると思う。
- 一週ごと、あるいは全体の動画がすべて再生できるモードがあるとよい。
- 予想以上に詳細な情報が体系的に学べたので、大変参考になった。
- 字幕に誤字が散見される。
- これだけの内容をコンパクトにまとめていただいた皆様の努力に感謝したい。オープンサイエンスの推進の大きな役割を果たすと思う。
- 馴染みない単語や機関名などがあり、用語一覧があると助かる。
- テストの中の、架空の研究データについてファイル名をつける設問がたいへんためになったので、同じようにデータ管理計画などでも例題があるとよい。

学認LMSについての改善要望など (自由記述より抜粋)

- 画面の日本語がぎこちない。拙い。
- 全体的に講座の進め方、動画の閲覧方法が初見ではわかりにくい。
- 業務の合間に学修するには、動画よりもテキストベースの教材の方がよい。
- 字幕でスライドが隠れてしまっていた。
- 理解度確認テストの答え合わせを、10問まとめてだけでなく、各設問ごとにもできるようにしてほしい。
- 英語版もぜひ作成してください。
- ブラウザを全画面にしていないと、表示している文字とボタンが重なってしまうところがあります。
- 「マイコース」に詳細なコース名が表示される時とされない時がある。